

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆介護事業者の倒産件数、24年は172件 過去最多を更新

・東京商工リサーチは2024年に介護事業者の倒産が172件あったと発表。前の年から50件増加し、遡れる00年以降で最多。24年度の介護報酬改定で基本報酬を引き下げた訪問介護が半数近くを占める。物価高によるコストの増加や人手不足も引き続き経営の重荷。採算の取れない事業者の淘汰が起り始めている。

◆インフルエンザ患者数31.7万人 現行統計開始以降で最多

・厚生労働省は全国約5千の定点医療機関から12月23～29日の1週間に報告されたインフルエンザの患者数が31万7812人になったと発表。現行の統計を開始した1999年以降で最多。前の週から約10万人増え、10週連続で増加。1医療機関当たりでみても最多の64.39人。ほとんどの都道府県で警報レベルの30人を上回る。

◆実質賃金、4カ月連続マイナス コメ・野菜の値上がり響く

・厚生労働省が発表した2024年11月の毎月勤労統計調査は、名目賃金から物価変動の影響を除いた実質賃金が前年同月より0.3%減。物価上昇に賃金の伸びが追いつかず4カ月連続のマイナス。名目賃金を示す現金給与総額は30万5832円で3.0%増えたものの、消費者物価指数の伸び率が3.4%と上回った。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆工作機械受注、25年は1兆6000億円予測 自動化需要で

・日本工作機械工業会の稲葉善治会長(ファナック会長)は9日、2025年の工作機械の年間受注総額が24年実績(推定)に比べて1割増の1兆6000億円になるとの見通しを示した。人手不足などを背景に省人化・自動化需要が根強く、受注の追い風となる。24年1～11月の累計受注額は前年同期比1%減の1兆3420億円だった。

◆外国人を雇用する理由「労働力不足」が8割 寄せる期待も大きく

・厚生労働省が公表した「令和5年外国人雇用実態調査」結果によると、外国人労働者数は159万3256人で、国籍・地域別では「ベトナム」(29.8%)、「中国」(15.9%)、「フィリピン」(10.0%)が多数を占めた。建設業(採掘含む)の外国人労働者数は12万2596人。内訳は「特定技能」が2万3262人、「技能実習」が6万8483人。

◆物流コスト10%増なら物価0.2%上昇 内閣府試算

・内閣府はこのほど、残業規制の強化でトラック運転手が不足する「2024年問題」の影響を想定した試算をまとめた。物流費が10%上昇した場合、物価全体を0.2%程度押し上げるといふ。最も影響を受けるのが飲食料品業界で、上昇分の4割近くを占める。国内の産業連関表をもとに、最新の20年の数値と比較した。

《 注目商品 》

■パナソニック、最大出力を14%超向上した太陽電池モジュール

・最大出力を14%向上し、すっきりとした見た目の「住宅用・産業用太陽電池モジュールMODULUS(モデュラス)ブラックモデル」の受注を4月21日に開始。N型バックコンタクト方式により、現行品に比べてモジュール公称最大出力を最大で14%超向上。



■HiKOKI、18V同等の切断速度もつ10.8Vコードレス丸のこ

・電動工具ブランド・HiKOKI(ハイコーキ)から、10.8Vで軽量・コンパクトでありながら18V同等の切断速度の「コードレス丸のこC 1205DA」「コードレス集じん丸のこC 1205DYA」「コードレスチップソーカッタ CD 1205DA」の3機種を発売。チップソー「黒鯨(クロシャチ)」を標準付属。



■パナソニック マンション向けバスルームを刷新 バスルーム「MR」

・さまざまなインテリアにマッチする「マーブル柄」3色、「木目柄」1色、「ソリッドカラー」3色計11色を追加。カウンターや鏡をなくしたシンプルな構成をベースに、水アカが付きにくい「スゴピカ素材」を使用した浴槽、上質な空間を演出する「フラットラインLED照明」を搭載。

